

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	S E DスクールJ R大和郡山		
○保護者評価実施期間	2025年10月15日 ～ 2025年10月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38 (回答者数)	35
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士でしっかり話し合い、療育に向き合っていること	お互いに尊重し合い、違う意見も受け入れること	それぞれの得意分野を活かし、持っている知識を共有する
2	一人のお子様に対して全職員で支援の仕方を考えているところ	全職員が一人のお子様と係わる機会があるため、それぞれが感じたことを共有し、次の療育に活かす	今している支援がお子様にとって最善なのかを療育後にカンファレンスを行い、より良い療育に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	作業療法士など、専門性のある職員が施設にいない	遊具の扱い方、専門的な視点など、感覚調整遊具を使う上での	会社で行っている研修への参加。 職員間で知識の共有
2	キャンセルで休む方が多く、保護者も共働き世帯が多く振り替えが取りにくい。	午前のキャンセルは園の行事と重なることが多い。 支給日数が多い自治体のため、他施設を利用している方が多く別日に利用しにくい。	お子様の予定を早めに把握できるように努める 療育を受けられる日を保護者様に分かりやすく示しておく 日頃から保護者様と連携を図り、関係性を深める